

0467-45-6420
0466-79-8359
0465-32-1272
042-752-3377
048-222-4500
044-966-8908
044-733-0750

購読のお申し込み
0120-026-999
配達 集金が思い合わせ
03-6910-2556
広告のご用命
045-201-1155

花のロマンツェ 伊豆松崎温泉郷
公共の宿 伊豆まつざき荘
～季節のプランいろいろ～
TEL.0558-42-0450 <http://www.izu-matsuzaki.com>

神奈川

「脱石油依存」の暮らし提唱

榎本 英剛さん (46歳)



私の履歴書

- 1964年 兵庫県生まれ、東京で育つ
- 88年 一橋大学卒業
- 同年 リクルート入社
- 94年 同社退職
- 2000年 コーチやリーダー養成、コミュニケーション術の会社設立
- 05～08年 英国留学
- 08年 トランジション・ジャパン設立
- 09年 同団体がNPO法人化

藤野 発 創意工夫の輪

石油依存型の暮らしを見直し、住民の創意工夫や地域の特徴を生かした社会の構築を目指す英国発祥の市民運動「トランジション・タウン」の日本版をつくり、旧相模原市藤野町(現同市緑区)から発信している。「トランジション・タウン」とは「過渡期のまち」という意味だ。

地球温暖化への危機感
を募らせていた二〇〇五年ごろ、留学先の英国でこの取り組みを知り、帰国後の〇八年、「トランジション・ジャパン」を設立した。

豊かな藤野に居を構え、取り組みを始めた。その一つが約百五十世帯が参加する「地域通貨」の試み。畑の草むしり、壁のペンキ塗りなどの手伝いを求め合ったり、収穫した作物を提供したり。個々の持つ技術やサービス、物品を交換し合い、独自のポイントでやりとりする。業者に頼むよりガソリン消費を抑える効果もあるほか、「地域が経済的に自立でき、住民間のつながりも深くなる」と実感する。

が、「一気に移行するより、参加している人が楽しみながら続けることが大切。段階的に進んでいけば」と方みはない。藤野から始まった「トランジション・タウン」は東北から九州まで二十六地域に広がり、地域の特徴を生かした取り組みを模索している。

また、福島第一原発事故の影響で、電力供給について考える市民も多く、メンバー有志が今春、「藤野電力」というプロジェクトを始めた。地域の森林資源も含めた自然エネルギーを使った電力供給の仕組みを考えたり、安く太陽光パネルを家庭に設置する方法など研究を重ねている。八月には地域の祭りを自然エネルギーの電力だけでまかなった。

石油や既存電力に依存した生活を見直すことで、「無理だとあきらめていた一般市民が『自分たちでもできるのでは』と考えるようになってきた。大災害や経済危機などの困難な状況に強い地域づくりをしていきたい」。

(藤浪繁雄)

元気人 @かながわ